

「仕事を取るか？家庭に入るか？」

多くの女性が二者択一を迫られていた時代、学生だった米沢富美子（よねざわ ふみこ）さんは、物理の研究の道か家庭かで悩みました。

そして、出した答えは「両方」。

「物理と僕の奥さんと、その両方をとることをどうして考えないの？」

後に夫となる、允晴（まさはる）さんの言葉が大きかったとのこと。

両方を選んだ彼女は、先月 80 歳でこの世を去りました。

物理学者としての彼女の活躍は、後に続く女性達に、どれほどの力を与えたか知りません。

「勉強を取るの？部活を取るの？」

職員室で投げかけられた二者択一を迫る言葉。

どちらかを選ばなければならないと、追い込まれていたのは、学生時代の私。

返答できず、うなだれたまま職員室を出ようとしたその時、無造作に手渡されたメモ。

そこには、「文武両道の星になれ！」とだけ、書かれてありました。

それを目にした時、私は、光が差し込んできたような気がしました。

どちらかを選ばなくても、両方やれるんじゃないだろうかと・・・。

半世紀以上も前、2つの選択肢しかないような風潮の中、両方に挑戦する道もあるということを示してくれたのが、日本の女性科学者の草分け、米沢さんです。どれだけ世の中の女性たちに、希望を与えたことでしょうか。また、両方に挑戦する道があると背中を押してくれた身近な人の存在は、その後も大きな支えとなってくれたに違いありません。

詩人の吉野弘さんは、詩「2月の小舟」で、2月を、冬と春の間で行きつ戻りつする小舟にたとえています。

=====

冬を運び出すには小さすぎる舟です

春を運びこむにしても小さすぎる舟です

ですから、時間が掛かるでしょう・・・

=====

受験シーズンは、これから山場にさしかかっていきます。

目的を達成するための方法は、1つとは限らない。

そんなことを、身近でがんばっている子供たちに、伝えてあげられたらと思います。

投手と打者を両立する二刀流である大谷選手の活躍にも心躍らせながら、2月の小舟が、春に向かって進んでいけるよう、応援しています。

受験生たちそれぞれに、春呼ぶ花が咲きますように・・・。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索